



むらさきコーラスの歌声で芸術祭の舞台発表が幕を開ける

話題

ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係 ☎・内線1202

待ちに待った芸術の花咲く

市芸術祭で舞台・展示の両部門開催は3年ぶり

市芸術祭は10月22、23の両日、松尾コミュニティセンターで舞台部門が、29、30の両日は西根地区市民センターで展示部門が行われ、それぞれの会場は、音楽発表や作品を鑑賞する多くの来場者でにぎわいました。

展示部門では水彩画家で市内在住の森薫さんの特別展示も行われ、森さんは「中学の時、プロの画家の作品を見たことが、この道を目指すきっかけになった。私の作品を見た子どもの中から、この道を目指す人が出てきたらうれしい」と柔らかな笑みを浮かべました。



森さんの水彩画の特別展示に見入る来場者



佐々木市長と受賞の喜びを語る遠藤さん(右)

寄り添う相談を心掛けて

県内では本年度唯一の法務大臣表彰を受賞

人権擁護委員に対する法務大臣表彰を受賞した遠藤友子さんが10月31日、佐々木孝弘市長に受賞の報告をしました。

平成23年から人権擁護委員に従事。相手の気持ちに寄り添う姿勢や「人権の花」運動など啓発活動の取り組みが評価されました。遠藤さんは「相談対応は大変なことが多いが、子どもたちとの交流など楽しみながら活動できた。5年12月まで活動しているので気軽に声を掛けてほしい」と意欲を示しました。



企画展「安比川流域の縄文文化」の展示解説会で学芸員の説明に興味深そうに耳を傾ける来館者(10月29日、博物館)



平館高生が地元食材を使い、新安比温泉の朝食メニューを考案(11月18日、朝食レシピコンテスト「八幡平の宝物」)



結婚生活60周年を迎えた54組の夫婦に褒状が贈られる(11月10日、ダイヤモンド婚を祝う会)



競技のほか地元のグルメなども紹介するトークイベント参加者

競技観戦と市の魅力をPR

国体開催100日前イベントで機運を盛り上げる

いわて八幡平白銀国体100日前イベントが11月3日、イオンモール盛岡で行われ、来年の2月17日から始まる国体開催の機運を盛り上げました。

北京オリンピック複合団体銅メダリストの永井秀昭選手や佐々木孝弘市長などによるトークライブなども行われ、永井選手は「国体では、地元の皆さんに現役最後の姿を見せることができる。ぜひ競技会場で観戦し、雪を思う存分楽しんでほしい」と国体競技の観戦を呼びかけました。



自分たちが育てた具材入りカレーを美味しく食べる児童

みんなで育てた収穫大集合

寺田小児童がカレーライスを作り収穫を祝う

地域ふれあい収穫祭が11月11日、地域住民5人を招いて寺田小で開かれ、児童が学校園で育てた野菜などで作ったカレーライスを食べ、収穫を祝いました。

当日は5・6年生が作ったカレーや5年生が校庭で収穫し漬けた梅漬けを全校で味わうとともに、農業体験でお世話になった住民へ感謝状を贈りました。

3杯目をおかわりした畠山凱斗さん(6年)は「皮むきを担当した。ごはんはホクホクして、家で食べるのと同じくらい美味しい」と口いっぱい頬張りました。

受け継がれる漆の文化

日本遺産認定記念シンポジウムを開催

安比川上流域に根差した漆文化を広く知ってもらおうと11月13日、二戸市浄法寺文化交流センターで「よみがえる漆文化」と題してシンポジウムが行われました。

シンポジウムには八幡平市と二戸市の市民約300人が参加。オープニングでは浅沢地区に伝わる浅沢神楽が披露され会場をにぎわせたほか、記念講演やパネルディスカッションが行われ、参加者は古くから続く漆文化を、今後の地域活性化につなげようと期待した様子で熱心に耳を傾けていました。



伝統文化の継承について語る小山田和義氏(右から2番目)

受け継がれた「同胞」の心

松尾中創立70周年記念し、講演会を開催

松尾中は学校創立70周年を記念して、旧松尾村を舞台に、1975年に公開された映画「同胞」に係る講演会を10月18日に開き、同胞の精神を学びました。

講師に映画で主演を務めた倍賞千恵子さんと親交の深い工藤金子さんを招き、1992年の文化祭に倍賞さんと呼ぶまでの軌跡を映したDVDの鑑賞など、生徒たちは興味深そうに見入っていました。工藤さんは「仲間とともに、夢や希望を持って何事にも取り組んでほしい」と言葉の大切さを伝えながら語りました。



団結して取り組んだ撮影や文化祭の話に聞き入る生徒たち



全国高等学校弓道選抜大会での活躍を誓う古川さん(右)

平常心を心掛け全国に挑む

全国高校弓道選抜大会県予選会の優勝を報告

第41回全国高等学校弓道選抜大会県予選会個人競技で優勝した古川真愛さん(松尾中卒、盛岡一高2年)が11月10日、佐々木孝弘市長に優勝を報告しました。

先輩の弓を引く姿に憧れ、高校生から弓道を始めた古川さん。一本一本無駄にしないことを心掛け、同大会では12射中10射を的中させ、優勝を飾りました。

12月23日から始まる全国大会に向けて「基本動作である射法八節のうち、射る直前の状態を示す「会」が課題。全国では強い「会」を見せたい」と決意を述べました。



平和ポスターコンテストに入賞した皆さん

平和な未来を絵で表現

テーマに合わせて理想のリーダー像を描く

西根ライオンズクラブが11月2日、平和ポスターコンテスト表彰式を市商工会館で行い、入賞者15人に賞状が手渡されました。

「思いやりあるリーダーになろう」をテーマに西根・松尾地区の小中学生76人が応募。絵の構成や色彩などそれぞれの思いを丁寧に描き上げました。

最優秀賞を受賞した青木琉さん(田頭小5年)は「戦争で苦しんでいる人たちを助きたい。困っている人を助けられるリーダーになりたい」と思いを述べました。

すなっぶギャラリー



作品や福祉車両展示、出店などでにぎわった3年ぶりの福祉まつり(10月29日、市総合福祉センター)



安比高原ふるさと倶楽部と関係機関が野芝草原維持のため恒例の野焼き(10月31日、安比高原・ぶなの駅付近)



好天の下、元気にスタートするランナー(11月6日、市クロスカントリー大会兼市スポーツ少年団駅伝祭り)



市農業委員会が経営所得安定対策など5項目にわたる意見書を市に提出(11月7日、市役所)



3年ぶりの開催に多くの来場者でにぎわう平館ふれあいまつり(10月22日、平館コミセン)